

天敵

バコトップ

株式会社アグリ総研

Bako-Top

タバコカスミカメ剤

農林水産省登録第 24524 号

有効成分：タバコカスミカメ幼虫及び成虫 100 頭 /100mL

その他の成分：鉱物質、植物片、
冷凍殺虫剤スジコナマダラメイガ卵

性状：淡褐色粒状、淡緑色植物、淡緑色幼虫及び成虫

包装：300mL ポリエチレンテレフタレートカップ（300 頭入り）

最終有効年月

4 562297 521034

入手後直ちに使用すること

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名		適用病害虫名	使用量
きゅうり (施設栽培)	アザミウマ類		2 株あたり 1 頭
	コナジラミ類		
なす科果菜類 (施設栽培)			
使用時期	本剤の使用回数	使用方法	タバコカスミカメを含む 農薬の総使用回数
発生初期	—	放飼	—

使用上の注意事項

- 本剤の使用に際しては技術資料等を熟読し、十分な知識を有してから使用すること。
- 本剤はコナジラミ類及びアザミウマ類を捕食する天敵タバコカスミカメ幼虫及び成虫を封入した製剤である。
- タバコカスミカメはコナジラミ類及びアザミウマ類を捕食する天敵生物であるが、植物を吸汁する生物でもある。作物を加害する可能性があるため十分注意して使用すること。
- 害虫が低密度の時、高密度放飼を行うと植物体に傷などが発生するおそれがあるため注意すること。
- タバコカスミカメ幼虫及び成虫の生存日数は短いので、入手後直ちに使用し、使い切ること。
- 容器中でタバコカスミカメ幼虫及び成虫が偏在していることがあるので、使用の際には葉上へ少量に分けては場全面に放飼すること。
- コナジラミ類及びアザミウマ類の生息密度が高くなってからの放飼では十分な効果が得られないことがあるので、対象害虫がまだ低密度で散見された時点で最初の放飼をすること。
- ピーマンに使用する場合は、各株で開花が確認され、対象害虫がまだ低密度で散見された時点で最初の放飼をすること。
- 定植時または害虫類の発生初期より約 1 週間間隔で、タバコカスミカメの定着が確認されるまで数回放飼することが望ましい。
- タバコカスミカメの活動に影響を及ぼすおそれがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布はさけること。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 容器、空袋等はほ場などに放置せず、環境に影響のないように適切に処理すること。
- 本剤を使用する施設の開口部へは、タバコカスミカメが野外へ逃亡しないように防虫ネットを張ること。
- 本剤を使用した作付終了時は、施設を締め切り内部の植物が枯死及びタバコカスミカメが死亡したことを確認した後に残渣を排出すること。

- 本剤は天敵生物であり、生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないこと。

製造場

株式会社アグリ総研
稲敷事業所 茨城県稲敷市沼田 2629-1
第二事業所 茨城県稲敷市下太田 4611-6
九州事業所 熊本県上益城郡甲佐町西寒野 856



本商品は戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）
「次世代農林水産業創造技術」の研究成果を活用しています



ラベル：PET